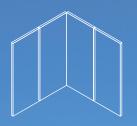
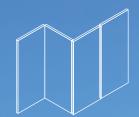




2019年4月1日~2020年3月31日







■株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社の第60期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 塚 本 健 太



■当社を取り巻く情勢

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による各種経済 政策の効果もあり緩やかな回復基調が続いておりましたが、米 中貿易摩擦など通商問題の動向が世界経済に与える影響や金融 資本市場の変動に加え、2020年に入り新型コロナウイルスの感 染拡大による国内外の経済に与える下振れリスクが非常に大き く、先行きは予断を許さない状況で推移しました。

パーティション市場におきましては、2019年は主力となる首都圏オフィス市場において大型ビルの竣工による市場の活性化とともに、堅調な企業収益のもと、働き方改革に伴うオフィス環境の改善、合理化や省力化にむけた設備投資も背景に増加傾向で推移しておりました。しかし、2020年以降は新型コロナウイルスの影響により、市場環境の景気減速懸念が急激に高まっており、厳しさが増しております。

■売上高について

売上高は、お客様面談の量と質の向上を図りながら、お客様のニーズに合った提案やサービスの提供を行うとともに、物件ごとの収益性にこだわった営業活動を推進したことに加え、中国市場において、連結子会社である格満林(南京)新型建材科技有限公司の全出資持分を譲渡したことなどの影響により、324億85百万円(前連結会計年度比5.3%減)となりました。

■損益について

売上総利益は、お客様への提案から受注、生産、施工までのムダの排除による業務の整流化を推進したことなどにより、売上総利益率が前連結会計年度と比較し2.5ポイント増加し132億82百万円(前連結会計年度比1.0%増)となり、収益体質の改善については一定の成果を挙げることができました。

販売費及び一般管理費は、中期経営計画の基本戦略に基づき、 お客様接点の質の向上につながる営業から納入までのスキル教育を計画的に実行する一方で、生産性向上による経費削減などに努めた結果、115億66百万円(前連結会計年度比1.4%減)となりました。

その結果、営業利益は17億15百万円(前連結会計年度比20.8%増)、経常利益は15億66百万円(前連結会計年度比16.8%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は7億11百万円(前連結会計年度比112.2%増)となりましたが、これは2020年1月に格満林(南京)新型建材科技有限公司を譲渡したことによる特別損失および法人税等調整額(益)を計上したことなどによるものです。

■今後の見通し

今後の見通しにつきましては、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響は、わが国の経済においても感染拡大が長期化することにより、実体経済や金融資本市場の変動など大きく影響することが予測されます。

当社における事業活動におきましても、新型コロナウイルスによる経済活動の縮小や、企業の設備投資の減少など、パーティション市場全体へのマイナスの影響は避けられない状況にあります。

このような状況のもと、当社といたしましては、厳しい経済環境においても売上高等の減少にも耐えられるよう、固定費を含む積極的な経費の削減と、収益を確保できる体質づくりにこれまで以上に重点をおいて取り組むとともに、当社の使命である「すべての人が光り輝く人生を送るために、より良く働き、より良く学び、より良く生きるための持続可能な環境づくり、人づくりに貢献する」世の中を実現するため、今まで以上に市場の変化をいち早く掴み、世の中に必要とされることに対し、新たな商品やサービスをスピードよく展開することで、企業価値の創造に努めてまいります。当社がこれまで築いてきた間仕切事業で世の中に更なる貢献をしていくと同時に、「変化への挑戦」を合言葉として、新しいことにも積極的に取り組んでまいります。

具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大により、ソーシャルディスタンスを守り、感染予防をしつつどのようにして生活を快適にしていくかという面で、物理的に仕切るということの価値が見直されつつある中、当社がこれまで培ってきた技術を利用した新商品の展開や、地域・社会に貢献できるサービスなどをスピードよく展開していきます。

先般小松市に寄贈しました窓口カウンターなどで使用する飛沫感染防止間仕切U/Pの発売や、空間全体のウイルスを5分程度で不活性化させ、VOC分解や抗菌作用にも効果のあるHealth Bright Evolution®の事業なども、新しい活動の一つとなります。

今後も、SDGsに代表されるような、すべての人を幸福にする持続可能な社会づくりに貢献できるよう、全身全霊をかけて経営に邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭 撻を賜りますようお願い申し上げます。

■小松市へ飛沫感染防止間仕切U/Pを寄贈

2020年5月1日に小松市役所を訪問し、飛沫感染防止間仕切 U/Pを61セット寄贈いたしました。

小松市の和田市長からは「市民、市職員が安心できる衝立を 寄付していただき、大変ありがたい。」とのお言葉をいただきま した。

寄贈した衝立は、小松市役所庁舎の1階や小松市民病院の窓口 カウンターで利用されています。





■介護医療院向けベッド間間仕切 好評

2019年9月に発売した介護医療院への転換向けの間仕切である『ベッド間間仕切』シリーズが、若木原病院様、二ツ屋病院様をはじめ多くの病院で採用をいただきました。

介護療養病床は2024年3月末に廃止となり、転換の必要な病院はそれまでに療養環境を整備する必要があります。しかし、全国の多くのエリアでまだ転換されていない病院様がございます。このことから今後も継続したニーズがあると考えております。

■Health Bright Evolution®事業

当社は、「間仕切る」ことに加え、抗菌・抗 ウィルスの機能を持つコーティングを付加する ことで、安全で安心な環境空間を創造してまい ります。

このコーティング剤 (HBE) は、無色透明・無臭の天然ミネラル100%の特殊な液体であり、パーティションはもとよりガラス、固定壁、机・椅子といった備品に至るまで、すべての素材に塗布が可能で、空間全体を抗菌・抗ウィルス効果のある空間にすることができます。すでに、オフィスや学校、病院施設などに実績があり、これからますます需要が見込めると考えております。



■サステナビリティの取り組み

国際的な環境団体「SBTイニシアチブ」から 認定を取得



SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

(2020年4月14日)

コマニーが設定した中長期的な 温室効果ガスの削減目標が、パリ 協定が目指す「1.5℃目標」の達 成に対して科学的根拠に基づいた 目標であると認められ、SBTイニ

シアチブから認定を取得しました。以下の目標達成に向け、省エ ネと再エネの両面から環境負荷低減に取り組んでまいります。

Scope 1・2温室効果ガス排出削減目標	Scope 3 サプライヤーエンゲージメント目標
2030年までに スコープ 1 および 2 の温室効果ガス排出量を 2018年比50%削減する	サプライヤーの80%が 2024年までにSBT目標を設定する
Scope 1 :企業自身が直接排出した温室効果ガス排出量(化石燃料、 天然ガスなど) Scope 2 :間接的に排出した温室効果ガス排出量(電気など)	Scope 3:間接的に排出するサプライチェーンでの温室効果ガス排 出量(製造、輸送、通動など)

■ 第一回お取引先様交流会の開催

(2020年1月28日)

本社にて、第一回お取引先様交流会が開催されました。今回は、 お取引先様満足度調査の結果とご要望に対する改善状況の報告を 行い、今後の購買方針やサプライチェーンマネジメントの取り組 みについて共有をしました。満足度調査でサステナビリティにつ いてよくわからないとの回答が多かったことを受け、SDGsやコマ ニーでのサステナビリティの取り組みについて説明を行い、その 後、工場見学の実施や、会場を変更して懇親会を開催し、お取引 先様との交流をさらに深めることができました。今後も主要お取 引先様を対象に交流会を定期的に開催し、パートナーであるお取 引先様との共存共栄を目指してまいります。





■ グリーン購入大賞 「大企業部門」 大賞を受賞





(2019年11月20日)

第20回グリーン購入大賞にて、大企業部門で の大賞を受賞いたしました。今回の受賞は、コマ ニーが自社にSDGsを経営に実装するため制定し た価値創造モデル「コマニーSDGs∞(メビウス) モデルーにて全社を巻き込んだ事業活動を展開 し、企業価値の最大化を図ったところが評価さ れたものです。

JMAQA **AWARDS** 2020を受賞

一般社団法人日本能率協 会審査登録センターが主催 talmaqa awards 2020を受賞いたしまし た。



(2020年2月6日)

JMAQA AWARDS 2020は、JMAQAに登録 されている組織を対象として、事業とマネジメ ントを一体化させることでISOを上手く活用し、 成長している組織の取り組みを称え、表彰する ものです。コマニーは自社にISO、SDGsと事業 プロセスとの統合がISOマネジメントシステムに より什組み化され運用されていることなどが評 価されました。

■連結業績ハイライト

売上高

324億85百万円

(前期比 5.3%減)



営業利益

17億15百万円

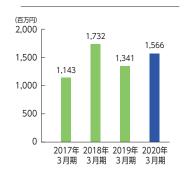
(前期比 20.8%増)



経常利益

15億66百万円

(前期比 16.8%増)



親会社株主に帰属する 当期純利益

7億11百万円

(前期比 112.2%増)



1 株当たり当期純利益

79円93銭

(前期より42円26銭増)



配当

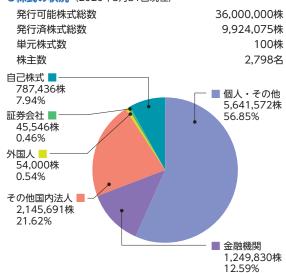
1株につき51円

(前期より1円増配)



■株式情報

●株式の状況 (2020年3月31日現在)



●大株主/上位10名(2020年3月31日現在)

株主名		持株数(株)	持株比率(%)
株式会社コマツ	コーサン	923,300	10.10
コマニー#	も 栄 会	725,551	7.94
コマニー従業員	員持株会	664,855	7.27
株式会社北	陸 銀 行	444,002	4.85
吉 田 毎	敦 夫	265,500	2.90
株式会社北	國 銀 行	260,000	2.84
日本マスター 信託銀行株式会社		260,000	2.84
日本トラスティ・ 信託銀行株式会社		233,928	2.56
木 村 🎚	重 子	223,296	2.44
塚 本 韓) 雄	217,500	2.38

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ -

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当

毎年9月30日

上場取引所株式会社東京証券取引所株式会社名古屋証券取引所

公告 方法 電子公告

但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL https://www.comany.co.jp/

証券コード番号 7945

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

特 別 口 座 の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

□ 座 管 理 機 関 三井住友信託銀行株式会社

郵 便 物 送 付 先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(インターネット https://www.smtb.jp/personal/

ホームページURL) agency/index.html

(よくあるご質問 https://faq-agency.smtb.jp/?site_

(F A Q)) domain=personal

配当金のお支払い 配当金は、当社定款の定めにより、支払 に つ い て 開始の日から満3年を経過するとお支払い ができなくなりますのでご注意ください。

■会社概要

●会社概要(2020年3月31日現在)

コマニー株式会社 社 名

(英訳名 COMANY INC.)

本 店 石川県小松市工業団地一丁目93番地

1961年8月18日 設立

資本金 7,121百万円

従業員数 (連結) 1.234名 (個別) 1.081名

パーティション(間仕切り)の開発、設計、 主な事業内容 製造、販売および施工ならびにパーティ

ション関連の内装工事、建具工事

●役員(2020年6月23日現在)

取締役および監査役

常務執行役員

代表取締役 塚本 幹雄 社外取締役 中川 俊一 会長執行役員 代表取締役 塚本 健太 社 外 取 締 役 吉村 美紀 社長執行役員 堀口 勝弘 社外取締役 伊地知降彦 専務執行役員 篠﨑 幸造 常勤監査役 北村 秀晃 専務執行役員 役 雅博 東木 太志 常勤監査役 元田 常務執行役員 締 塚本 直之 社外監査役 松垣 哲夫

執行役員

副会長執行役員 塚本 清人 執 行 役 員 本田 正 松永 達雄 務 専務執行役員 執 行 役 員 芋塚 専務執行役員 木村 繁美 執 行 役 員 中鳥 カ 常務執行役員 滝ヶ浦信一 松下 和明 執 行 役 員 田中 克政 常務執行役員 執行役員 花木 茂晴 浅日 執 行 役 員 俊行 執行役員 村上謹士郎 浩 執 行 役 員 道源 執行役員 伴場 秀文

●ウェブサイトのご案内

当社はウェブサイトに おいて、製品情報、決 算情報や、各種IR資料 を掲載しております。



社外監査役 鎌田

https://www.comany.co.jp/

● Facebookページのご案内

竜彦

Facebookでも当社の情 報を掲載しております。 https://www.facebook.com/ comany.co.jp/

●コマニーグループのサステナ ビリティに関するウェブページ のご案内

サステナビリティ に関する取り組み について情報を発 信しております。



https://www.comany.co.jp/sdgs/

コマニー株式会社







